

組立・施工説明書

梁延長セット SS ポートGⅢ ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ

《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本説明書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

はじめにお読みください

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「梁延長セット SSポートGⅢ／ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ」の組み立て、施工について説明しています。
本体に同梱の組立・施工説明書をあわせて参照してください。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

本説明書内の表記

警告／注意／お願い

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

表記	意味
 警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

その他の表記

表記	意味
 改訂	商品や作業の変更点
 チェック!	作業するうえで必要な情報
 ポイント	知っておくと便利な情報
 シーリング材	必ずシーリングをする箇所
 電動ドライバー 禁止	電動ドライバーの使用禁止
 電気工事	電気工事士の資格が必要な作業

- 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。
- 本説明書内の図は、7800延長の場合で示しています。

もくじ

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
作業前の確認	P.3
同梱一覧	P.3
基礎工事の準備	P.5
墨出し	P.5
本体フレームの施工	P.6
梁の連結（7800 延長の場合）	P.6
梁の部品付け	P.8
柱・梁の取り付け	P.12
屋根部の施工	P.13
梁延長カバーの取り付け	P.13
鼻隠し（側面）の取り付け	P.14
寸法図	P.16

安全にお取り扱いいただくために

作業前に確認してください

- 本体に同梱の組立・施工説明書を参照してください。

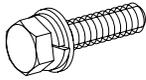
作業前の確認

同梱一覧

■ 梁(梁延長用 L=6000)

姿 図				
品 名	梁	梁	キャップ	キャップ
品 番	3K-83376	3K-83376	3K-32421	3K-32422
MCD-(DS)-BJ-60B	1	—	2	—
MCD-(DS)-BJ-60F	—	1	—	2
備 考	250見付	280見付	250見付	280見付

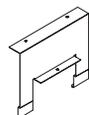
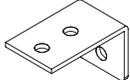
■ 梁(梁延長用 L=1800)

姿 図				
品 名	梁	梁連結カバー (下部用)	座金組み込み 六角ボルト (M10×40)	トラスタッピンねじ (φ5×16)
品 番	3K-83380	7K-10878	7K-11348	ET-5016
MCD-(DS)-BE18F	1	1	22	26
備 考	—	—	梁組立用	梁連結金具・ カバー取付用

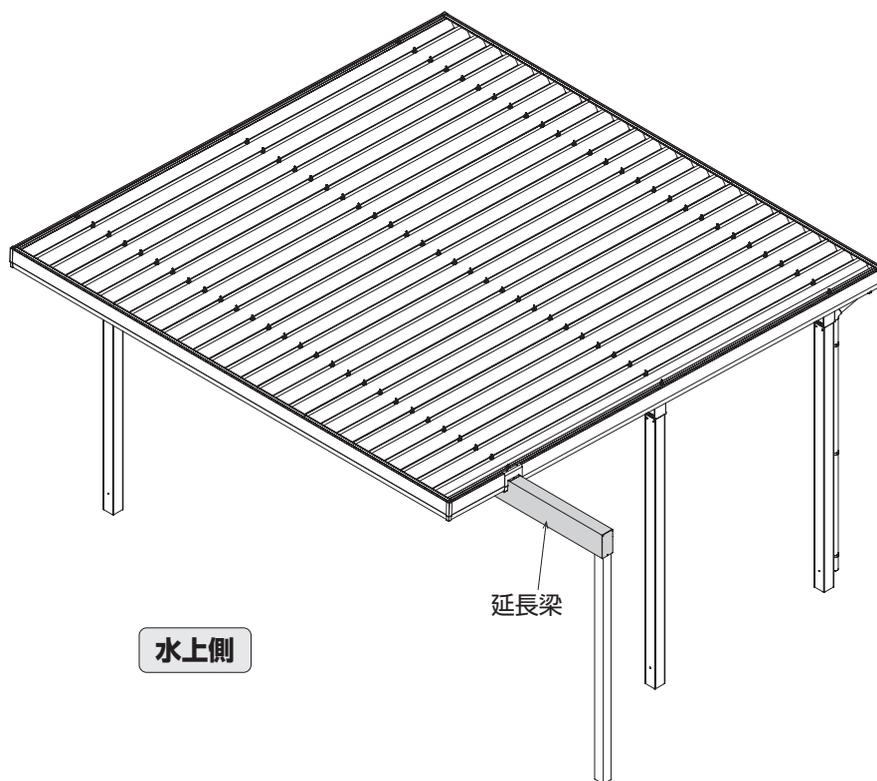
■ 梁連結カバー

姿 図			
品 名	梁連結カバーA	梁連結カバーB	なべドリルねじ (φ4×19)
品 番	3K-32428	3K-32429	DN-4019B-SC
MCD-(DS)-EQA-1	1	1	1
備 考	—	—	—

■ 梁延長部品

姿 図				
品 名	梁延長カバー	ブラケット	穴塞ぎシール	小トラスタッピンねじ (φ4×12)
品 番	7K-10882	3K-17872	K-41844	EM-4012
MCD-(DS)-ER	1	2	2	7
備 考	—	—	—	—

全体構成図



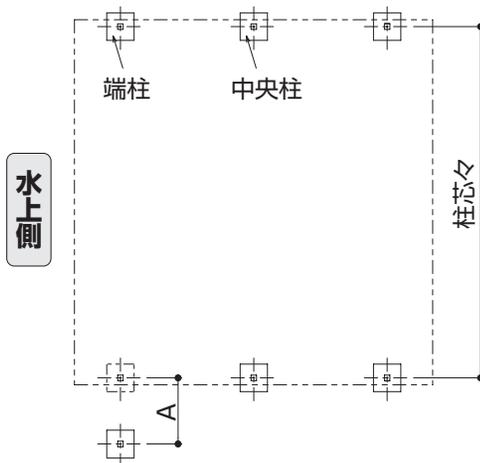
基礎工事の準備

墨出し

1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、標準柱位置からA寸法移動して墨出しを行ってください。



- 柱位置を決める際、家屋の屋根、軒などにカーポートが干渉しないように考慮してください。
- 梁延長は、どの列でも施工可能です。
- 張り出しは片側のみとしてください。



■6000延長の場合

呼称間口	A
30	3000
36	2400

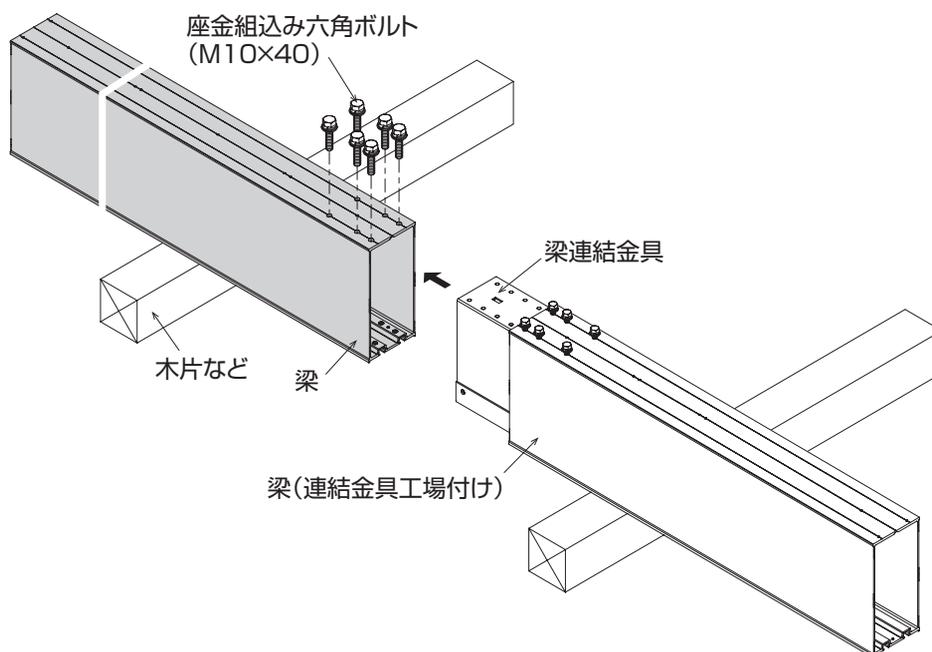
■7800延長の場合

呼称間口	A
30	4800
36	4200
48	3000
55	2400
60	1800

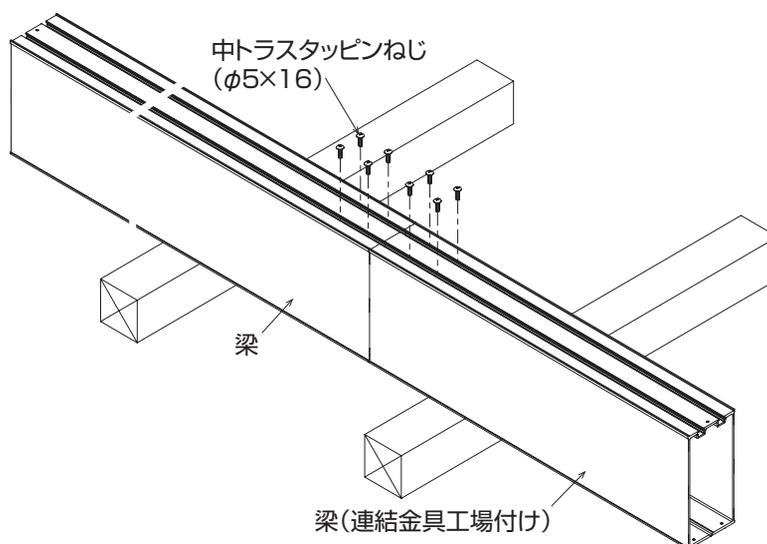
本体フレームの施工

梁の連結（7800 延長の場合）

1 梁連結金具を梁に挿入し、梁上部を仮固定してください。

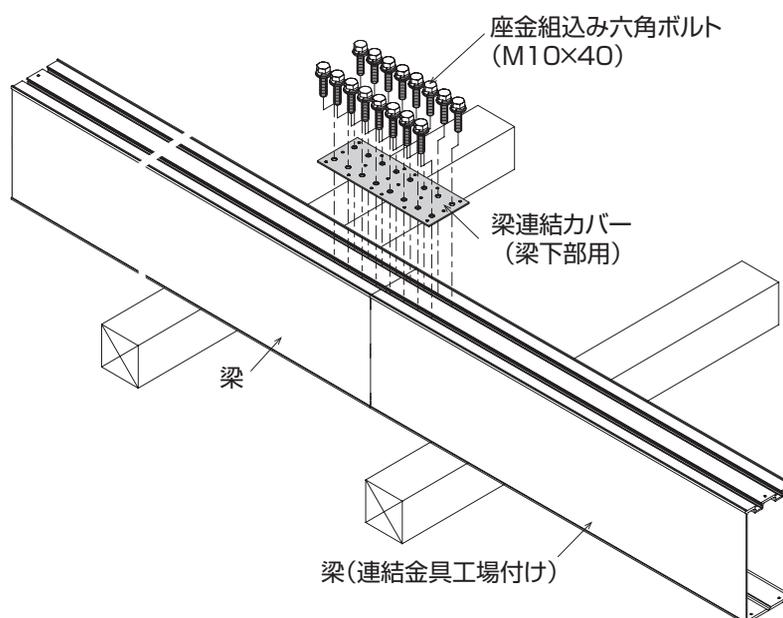


2 梁下部を固定してください。



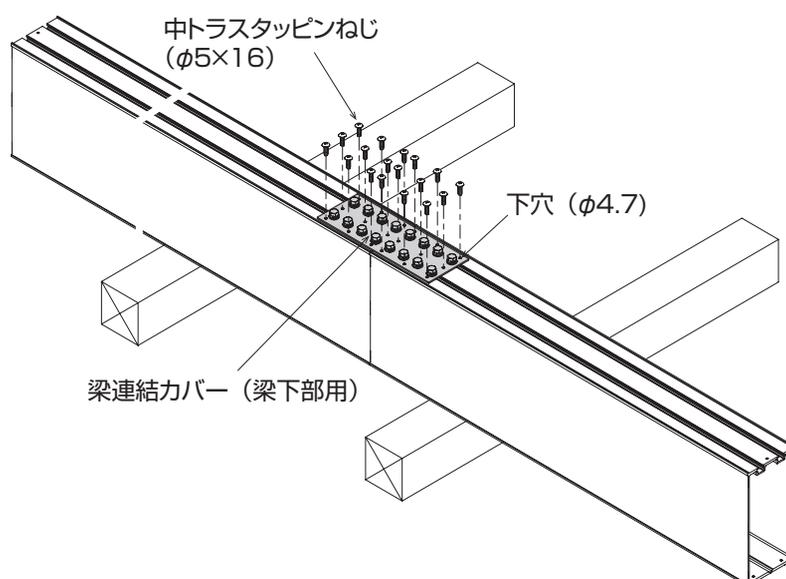
3 梁連結カバー（梁下部用）を連結部に取り付けてください。

① 梁連結カバー（梁下部用）を梁連結部に取り付けてください。



② 下穴 (φ4.7) を梁にあけてください。

③ 梁連結カバー（梁下部用）を梁連結部に固定してください。

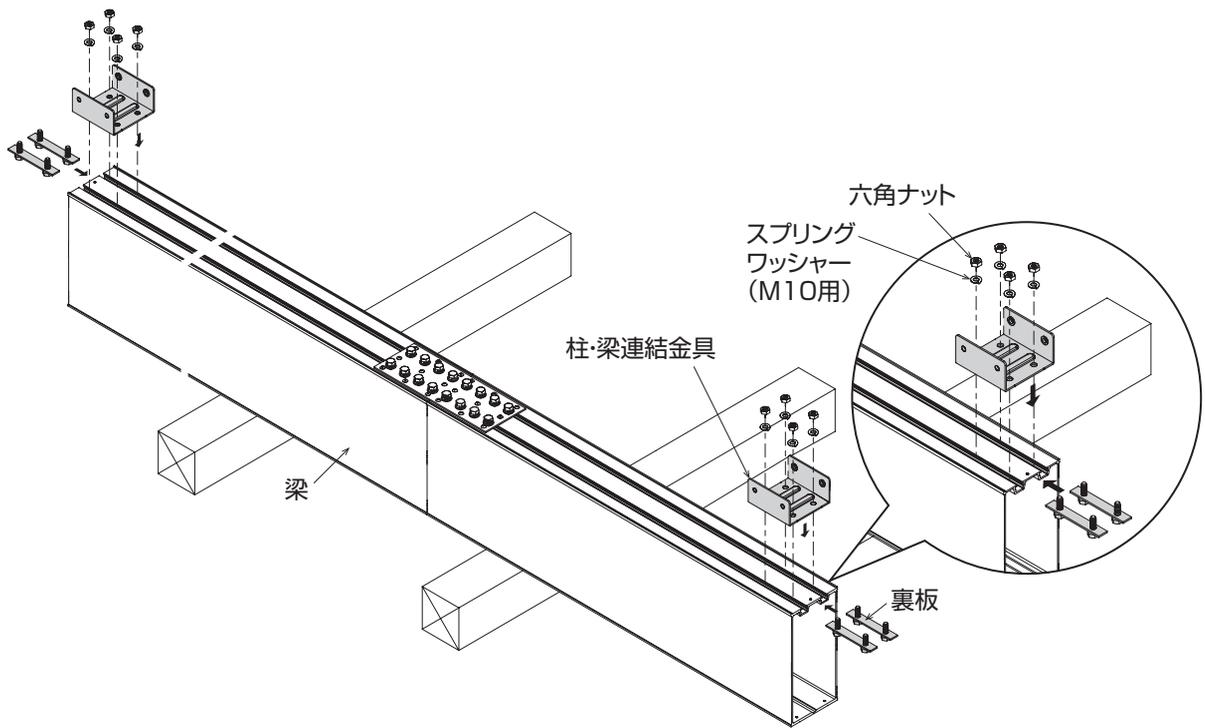
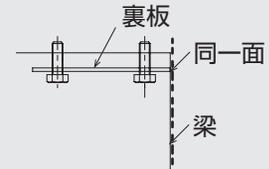


梁の部品付け

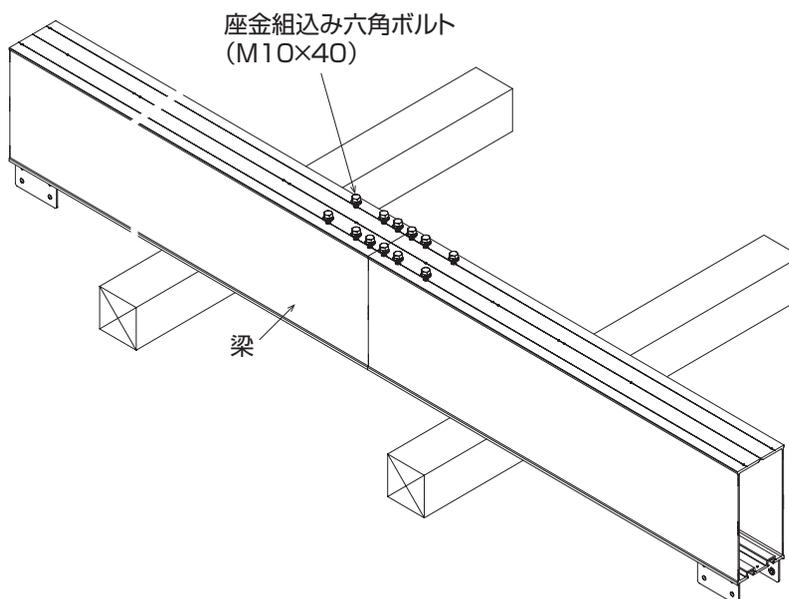
1 裏板を挿入し、柱・梁連結金具を梁に取り付けてください。



• 裏板は梁端部と同一面にしてください。

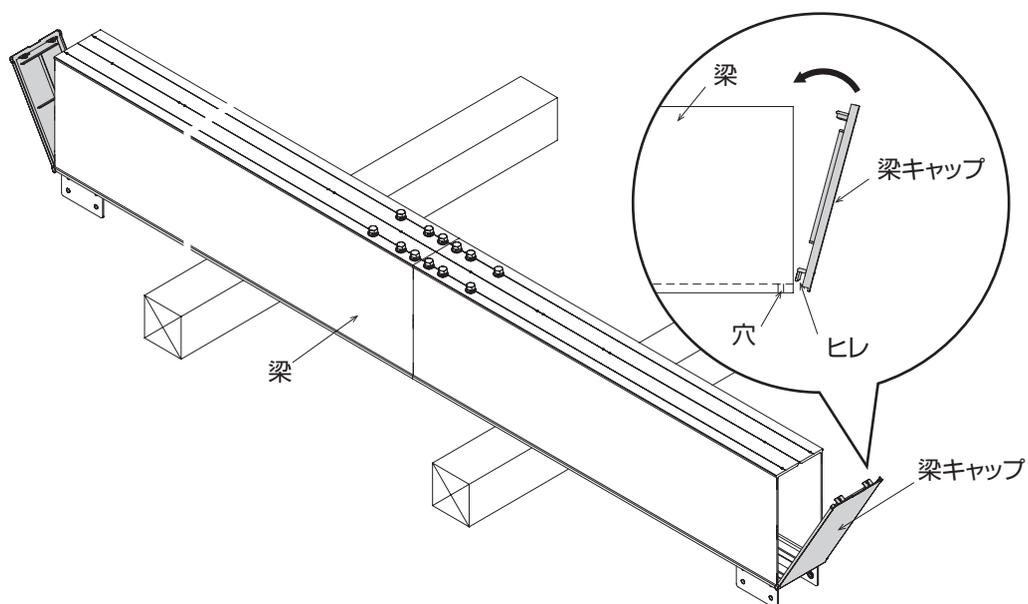


2 梁上部（連結部）を本固定してください。

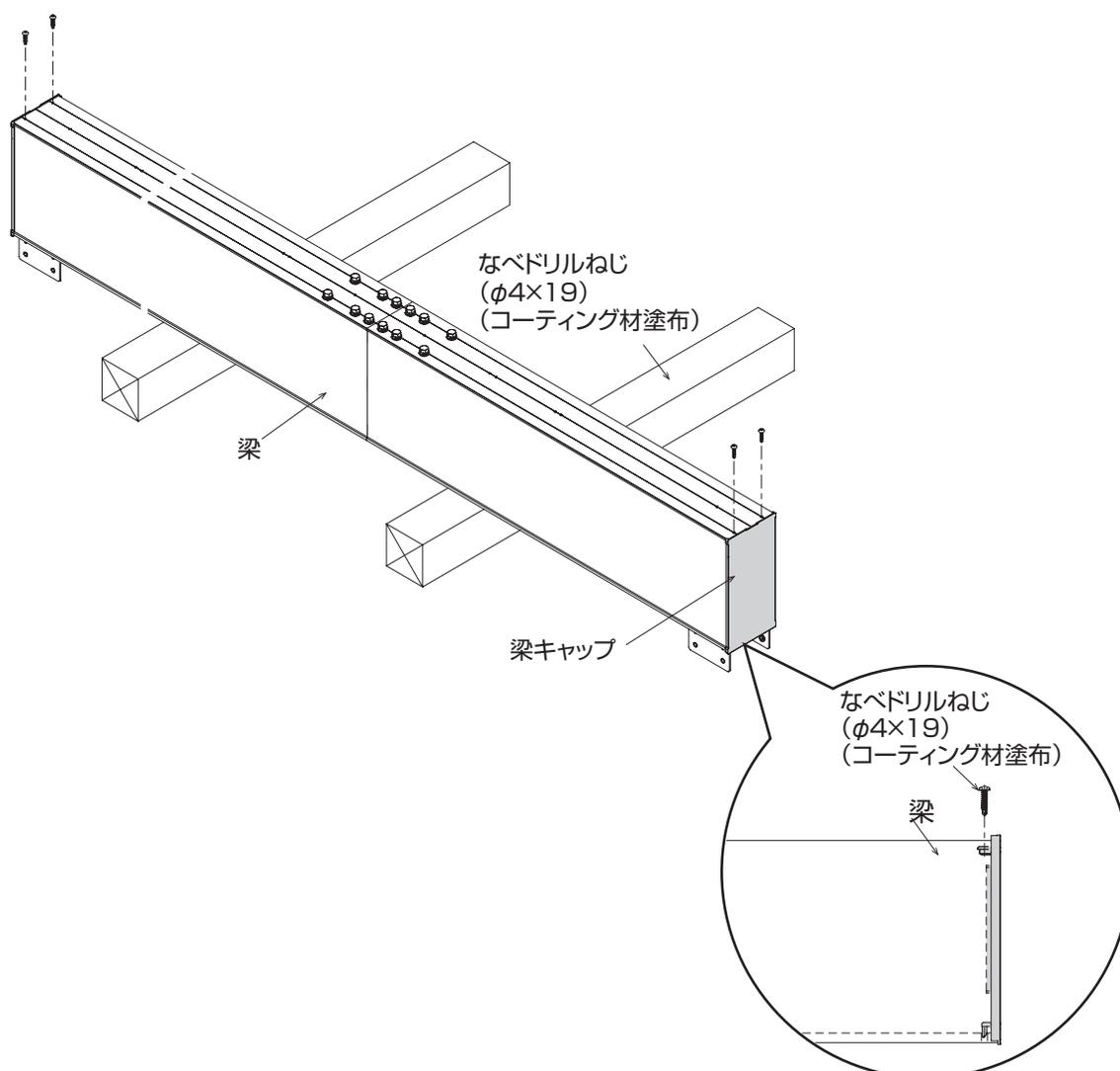


3 梁キャップを梁に取り付けてください。

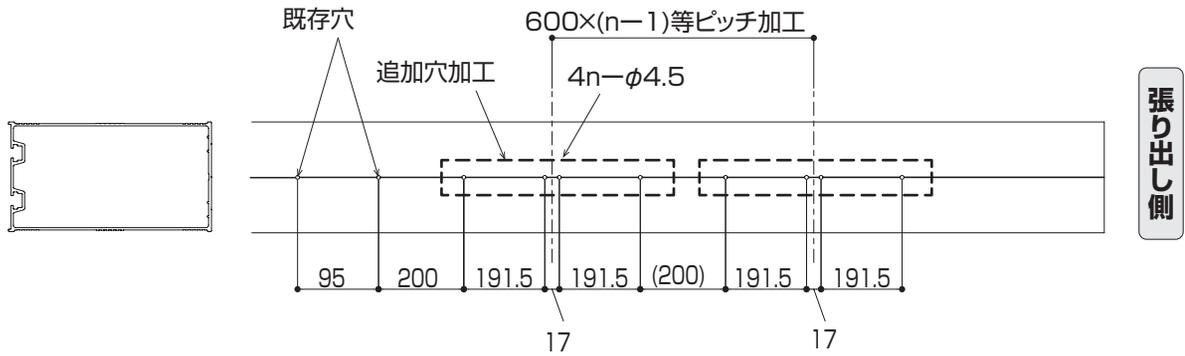
- ① 下部のヒレを梁の穴に挿入してください。
- ② 梁キャップを梁に押しあててください。



③ 梁キャップをねじで固定してください。

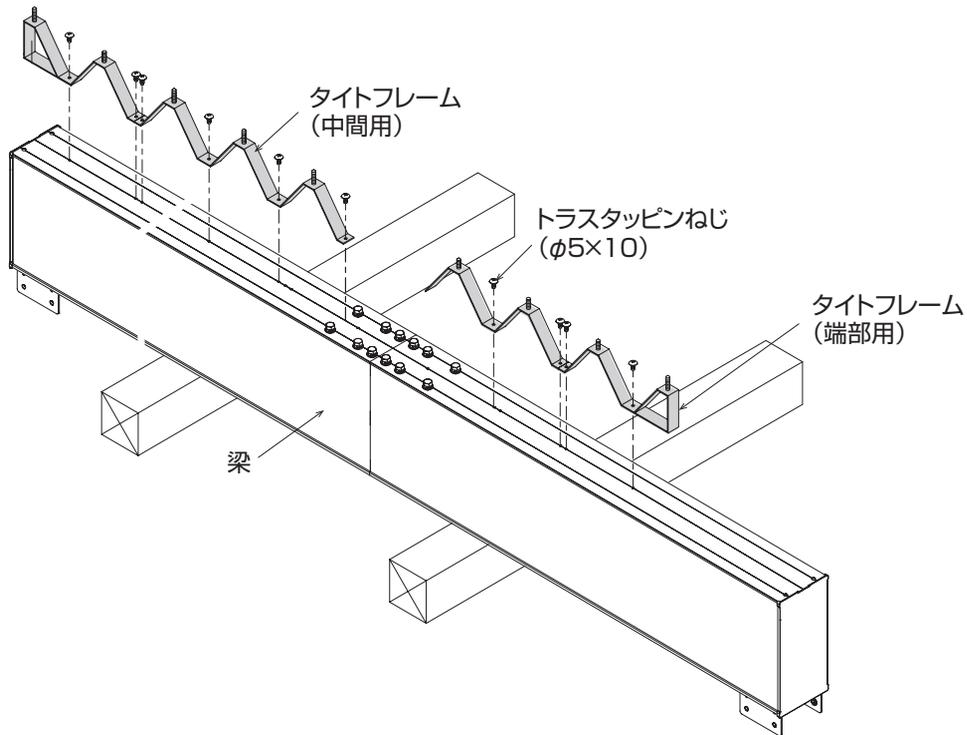


4 梁にタイトフレーム取り付け用の下穴（φ4.5）を追加してください。



n個数表		梁長さ		
		6000	6300	7800
呼称幅 d	30	—	—	—
	36	1	—	1
	48	—	—	3
	55	—	1	4
	60	—	2	5

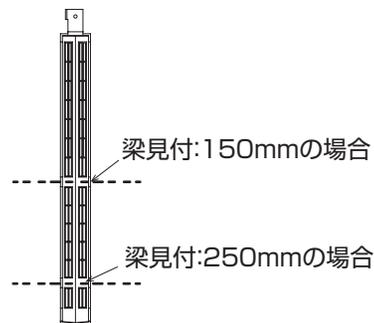
5 タイトフレーム（中間部/端部用）を梁に取り付けてください。



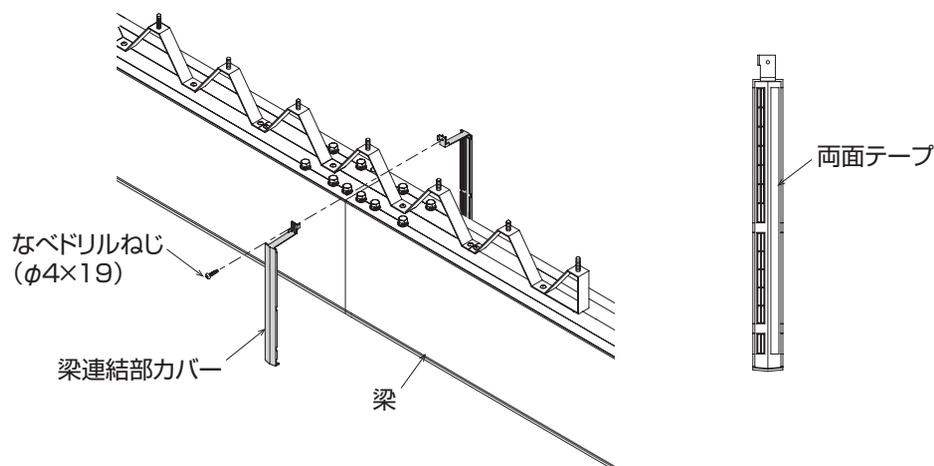
7800 延長の場合

1 梁連結部カバーを連結部に取り付けてください。

① 梁連結部カバーを連結部に取り付けてください。

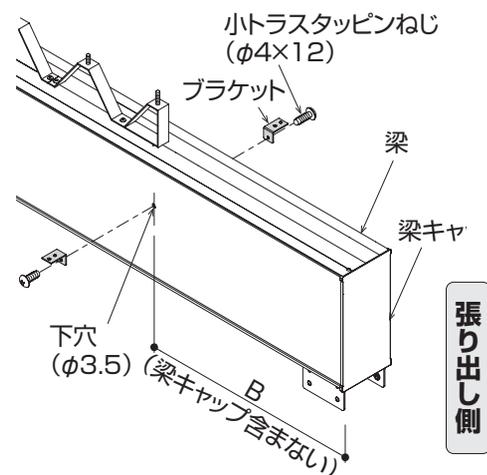
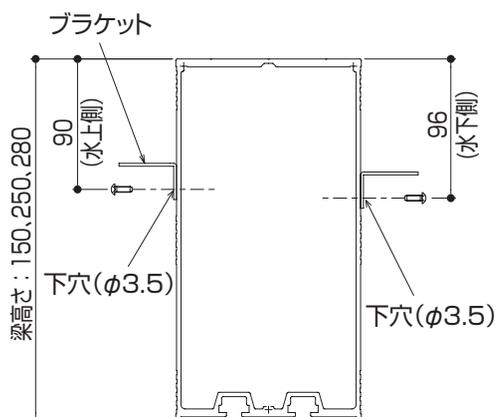


② 梁連結カバーの両面テープのハクリ紙をはがし、梁に取り付けてください。



2 張り出し側の梁に下穴 (φ3.5) をあけてください。

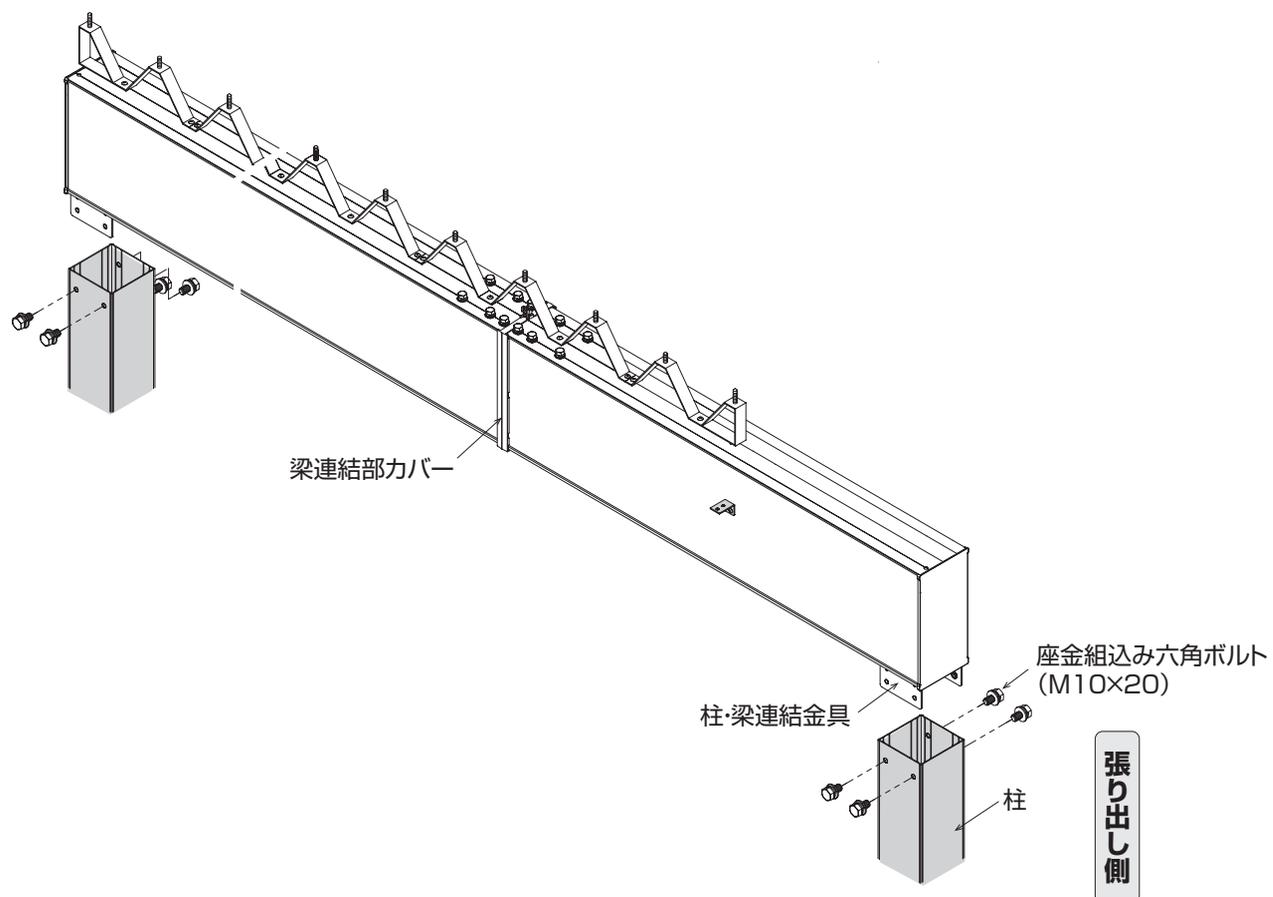
3 ブラケットを梁に取り付けてください。



B寸法	梁長さ			
	6000	6300	7800	
呼称幅d	30	2967	—	4767
	36	2367	—	4167
	48	—	1467	2967
	55	—	867	2367
	60	—	267	1767

柱・梁の取り付け

- 1 柱・梁連結金具を柱に挿入してください。
- 2 梁を柱に取り付けてください。

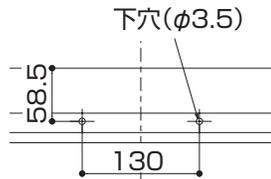


屋根部の施工

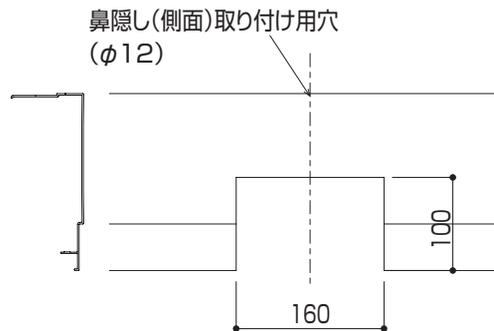
梁延長カバーの取り付け

1 張り出し側の鼻隠し（側面）を加工してください。

①鼻隠し（側面）に穴加工（ $\phi 3.5$ ）してください。

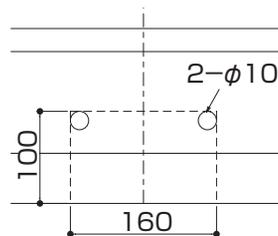


②鼻隠し（側面）取り付け用穴（ $\phi 12$ ）にあわせて、切り欠き位置をけがいてください。

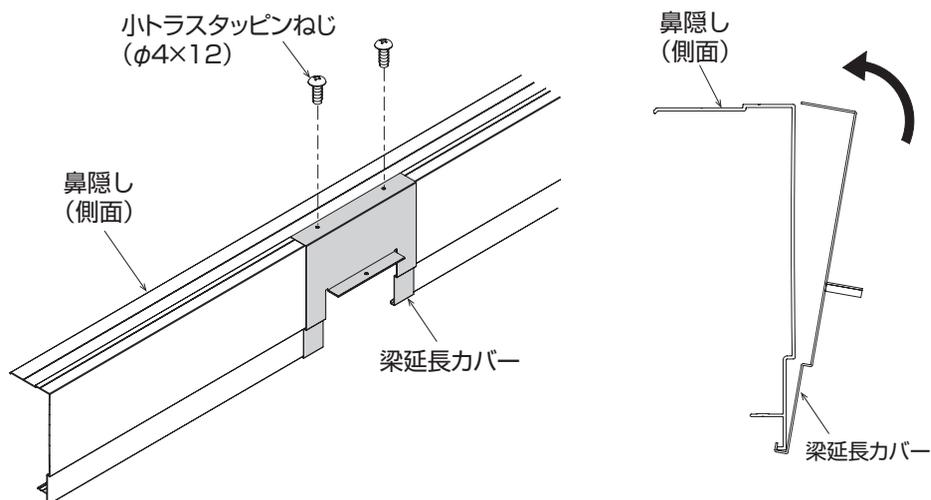


③切り欠き部のコーナ一部に穴加工（ $\phi 10$ ）してください。

④切り欠き部を金のコ、ジクソーなどで切り取ってください。

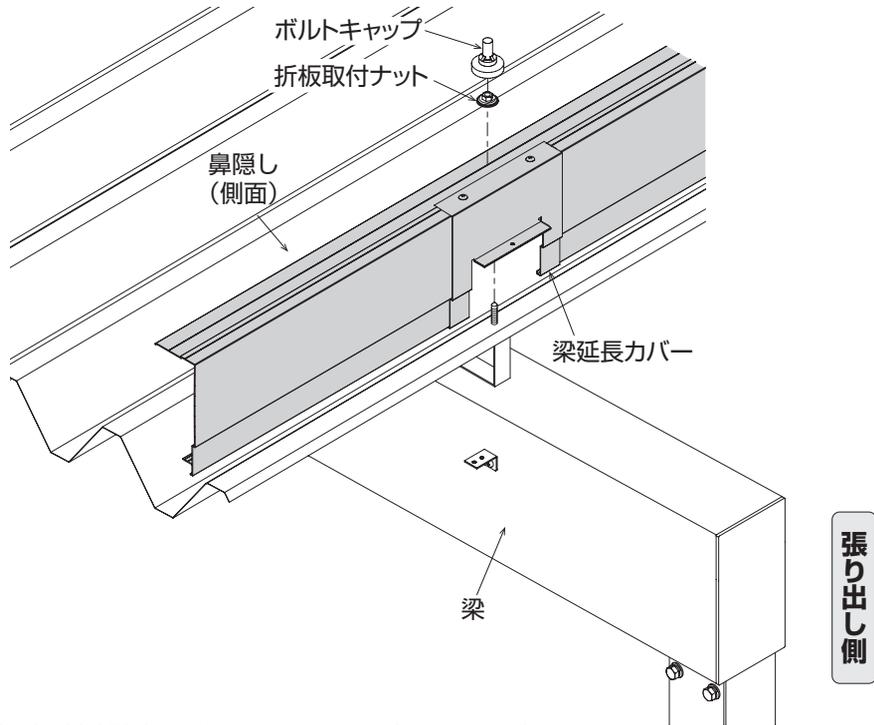


2 梁延長カバーを鼻隠し（側面）に取り付けてください。



鼻隠し（側面）の取り付け

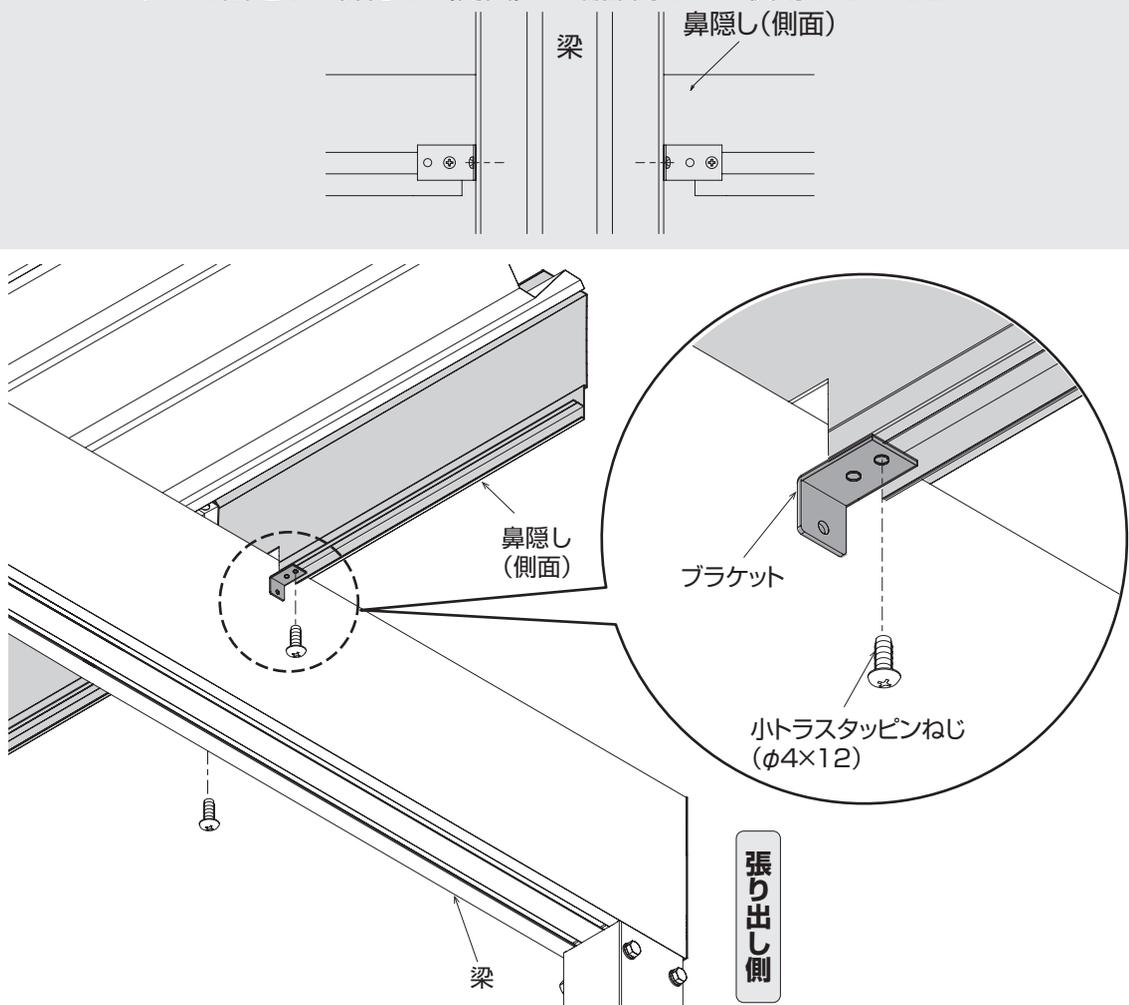
1 鼻隠し（側面）を折板取付ナットで固定し、木づちなどでボルトキャップをたたき込んでください。



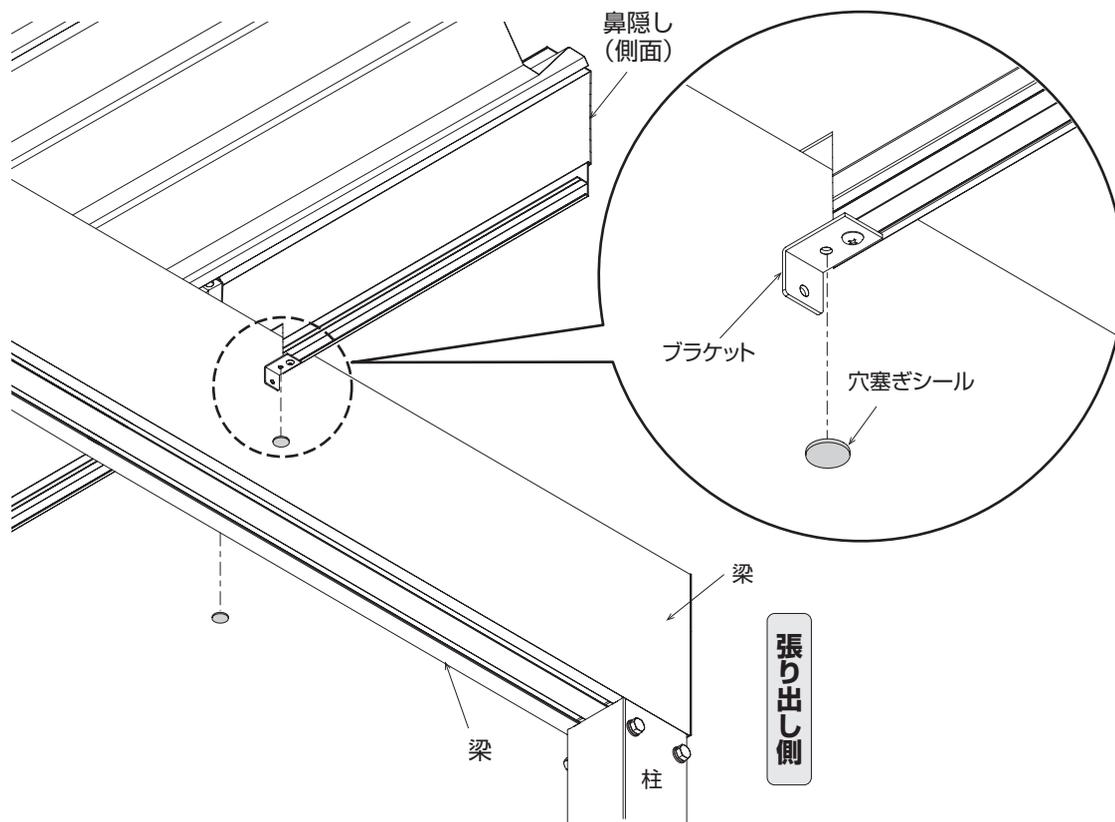
2 鼻隠し（側面）端部側をブラケットに固定してください。



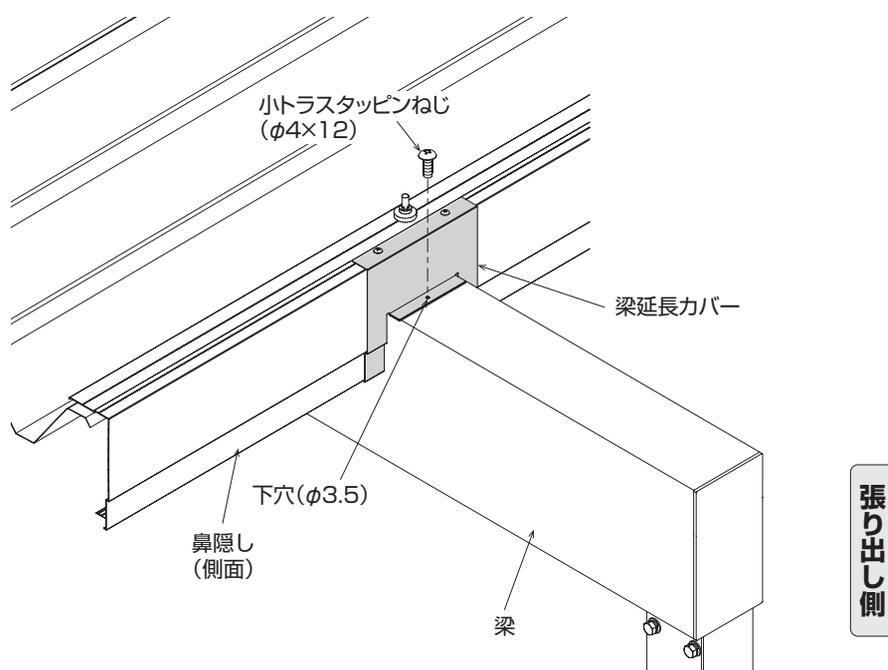
• ブラケットへの固定は、鼻隠し（側面）の端部側の穴を使用してください。



3 ブラケットの使用しない穴に穴塞ぎシールを貼り付けてください。



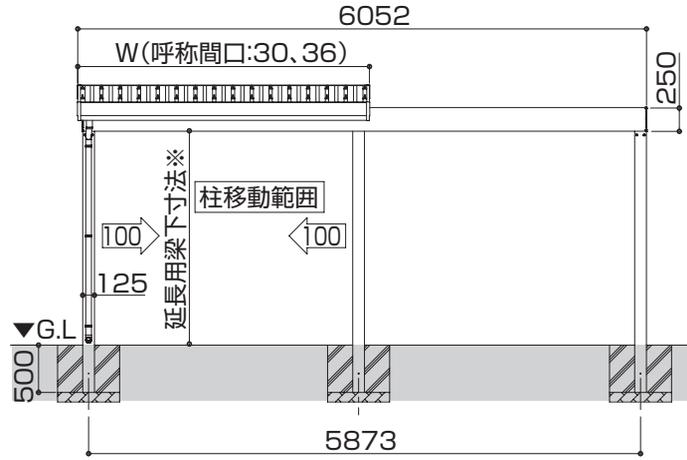
4 梁延長カバーを梁に固定してください。



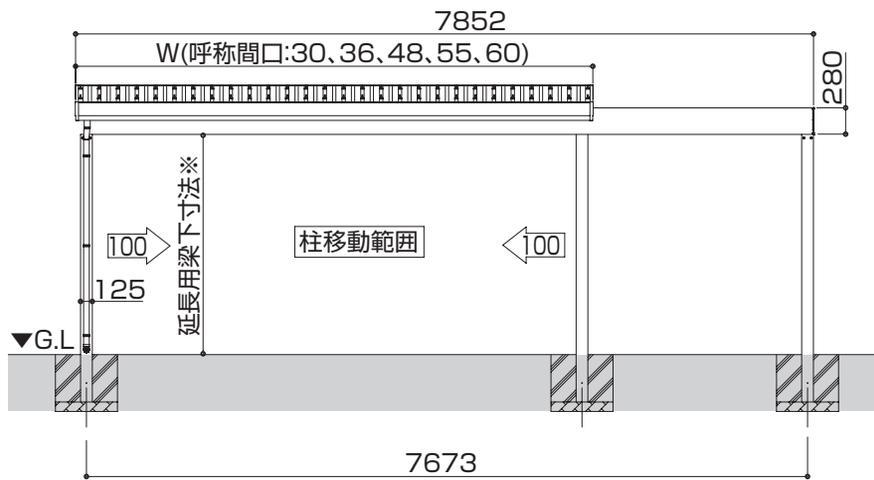
寸法図

• 図は、水下側の梁を延長した場合を示しています。

● 6000延長の場合

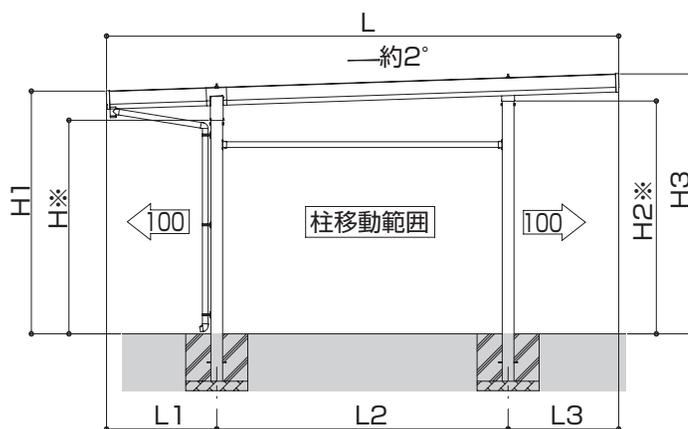


● 7800延長の場合

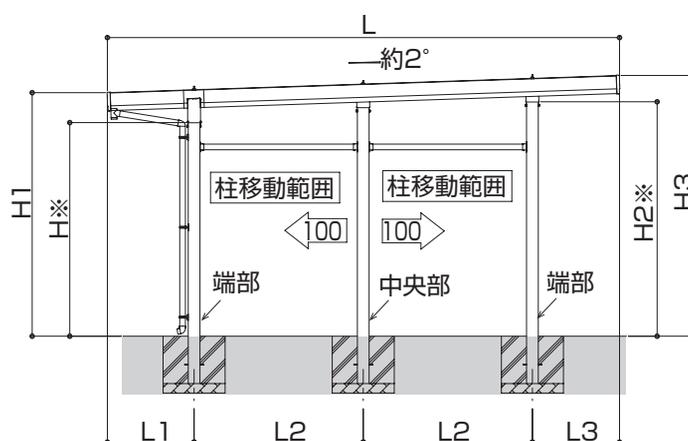


呼称間口	W
30	3104
36	3704
48	4904
55	5504
60	6104

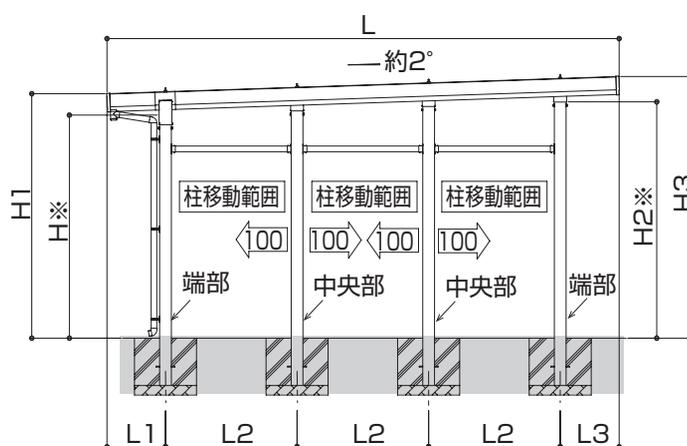
●4本柱



●6本柱



●8本柱



※：延長する梁と、延長しない梁の見付け寸法が異なる場合、その差分だけ延長用梁下寸法（H、H2）は小さくなります。延長用梁に接合する柱は、その差分だけ柱下端を切断するか、深く埋め込んでください。
 （例：見付け寸法・・・延長する梁：250、延長しない梁：150の場合⇒差分：100）

